

1. 市民意見

市民懇談会には委員、委員以外の方から多くの意見が寄せられました。意見の詳細とそれに対する回答は次ページ以降に添付します。

また、組合広報紙「えんとつ」でも、懇談会の討議内容に関する意見の募集を行いました。その結果、42名の方からの意見が寄せられました。結果としますと、平成19年3月発行の「小平・村山・大和衛生組合 3市共同資源化等に関する調査報告書」で資源化機能施設の想定地とされた東大和市暫定リサイクル施設用地への建設に反対する意見が多く寄せられましたが、一方、資源化施策や減量施策、生産者責任、生ごみ処理や施設運営などに対する提言もいただきました。反対意見については、主なものを以下に示します。意見の詳細については、市民懇談会に寄せられた意見同様、次ページ以降に添付します。

主な反対意見

- ・(ごみの)発生抑制を最優先すべき。減量施策が不十分。
- ・有害物質による健康被害。化学物質の解明がなされていない。
- ・(東大和市桜が丘の近くには)焼却施設もあり、複合汚染地域になる。
- ・(3市共同に伴う)車両増加による環境問題、事故の危険性。
- ・想定地周辺の環境問題(マンション、公園、老人ホーム等)
- ・想定地は面積が狭すぎる。
- ・資源化は共同ではなく、いままでどおり(3市別々)に。
- ・東大和市、組合の説明責任。現東大和市暫定リサイクル施設への不信。
- ・財政負担、税金の使い方
- ・想定地の妥当性。施設ありきで進めている。